

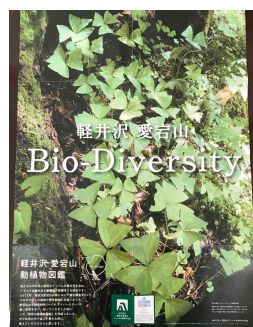
(様式第 11 号) (第 14 条関係)

平成 30 年度 「みんなの力でつくるまち」 活動支援事業評価報告書

事業名	長野県北佐久郡軽井沢町愛宕山山頂地域における、自然保護・保全・復元活動のための普及・啓発活動
団体名 (連絡先)	NPO 法人愛宕山てっぺんの森を守る会
総事業費	374,578 円 (うち補助金 : 183,000 円)

事業内容

愛宕山小冊子(図鑑形式)を作成する。
軽井沢の小中学校、高校、観光協会などにその小冊子を無料配布し、軽井沢特有の動植物を紹介する。



【 愛宕山図鑑 】
【目標・ねらい】

事業効果

18 種の動植物を、親しみやすい形で表すことができた。
堅苦しい言葉を省き、それらに関心が持てるような表現を用いることにより、最後まで読んでもらえる冊子となった。
自然が身近になることにより、大切に作る心、育む心の一助に繋がった。軽井沢在住の画家の参加により、軽井沢ならではの冊子となった。また、2018 年に独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の事業で土壌動物調査を行った、横浜国立大学名誉教授青木淳一氏にも協力を頂き、土壌動物を紹介する機会を得た。軽井沢住民のみならず、軽井沢を訪れる人々にも自然を考えるきっかけ作り、SDGs 目標達成に向かい一人一人の行動に繋がって行くことを願う。

- 軽井沢の豊かな自然を再認識し、自然保護への関心を深めてもらう。
- 生物多様性の恩恵を知り、動植物を大切に作る心を育む。

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

生物多様性を念頭に配慮した庭園管理を行い、普及啓発に努める。必要な作業を行い、希少な植物を守る。動植物と人間が共生できる仕組みを考え、それに繋げていく。
白樺、絶滅危惧種の保護・保全・復元、野鳥を呼び戻そうプロジェクト始動。
軽井沢愛宕山でのトラスト活動をシンボルとして、軽井沢全域におけるトラスト活動を行い、全世界の問題である、生物多様性の保護ならびに地球温暖化対策に寄与する。